

Livinglish

旬な情報！生きた英語！

英語教育 News

2019年度 高校入試から見る 鍛えるべき力とは



2020年度から始まる大学入試改革で 高校入試にも変化が見られます。

今回の教育改革の目標は、グローバル化や予測困難で急速な変化に積極的に向き合い、他者と協働し、また情報や知識を再構築することで新たな価値を生み出したり問題を解決する力をつけることです。

キーワードは「思考力・判断力・表現力」をつけること。
では、その力を見るために英語ではどのような傾向と変化がみられるのでしょうか。2019年度の高校入試をもとに分析していきます。

↓ ここ数年の傾向として、次の5つが挙げられます ↓

① ワード数の増加・長文読解問題の点数比重増

ついに今回、東京が前年比+500語、神奈川が前年比+700語で総ワード数が3000語を超えました。大阪(C問題)でも2700語と、全国的にみても長文の得点比率は50%を超えているところがほとんどです。中学生の英文を読む速度は平均50wpmといわれています。仮に総ワード数を2000語とすると、問題を読むだけで40分かかるとなります。ここで問われているのはいかに早く問題を把握し答えられるかという「処理能力」であり、長文対策は必須事項です。

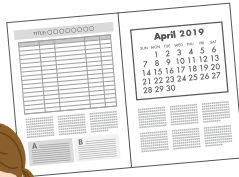
② 図表読解問題の増加

文章を読むだけでなく、グラフやイラストなど図表と照らし合わせて正解を導く問題です。文章中に直接的な表現を使わない場合も多々あり、情報を照らし合わせ、矛盾がないか整理、判断する力が求められます。

お金の計算や時間経過を問うもの、地図や掲示物など日常で目にするもの等が取り扱われており、実用的な題材が増えているのも近年の入試傾向です。

考える時間確保のためにも、処理能力を上げることが重要です。

会話と、表・カレンダーを対応させないと解けない問題。英文を読むだけでなくそれぞれの情報をまず整理しないと答えにたどり着けないわ。



※2019年沖縄県 イメージ

④ 複合問題の登場

まず英語の記事を読んで、そのあと会話を聞いて解答を英語で書きます。総合的な英語力だけでなく要約する力も問われます。



③ 英作文の変化(条件英作文、自由英作文)

場面に応じた状況から最適な文章を書く「条件英作文」、テーマについて説明したり自分の考えを書く「自由英作文」。前者はまず条件を把握すること、その文章内で使われる表現の範囲内での確に書く力が求められます。後者は題材の内容把握はもちろん、普段から考えていないといきなり意見を問われても答えることができません。まさに「思考力、判断力、表現力」を見られる問題です。



留学生からの勉強の誘いに自分はどう応えるかを問われるものもあつたわ。(2019年千葉県・前期)

⑤ 図表と聞いた内容を照らし合わせて答えるリスニング問題の増加

図表を読み解き、また、全体を聞かなければ答えられない問題が増えています。ピンポイントで聞き取るといったテクニックが使えなくなってくるので、普段から英語に耳を慣らし、また、最後まで集中して聞けるようリスニングの体力を身につけることが重要です。

地図を見ながら行き先を考えたり、グラフと照らし合わせるから聞く問題も！最後まで聞いて全体を把握しないと答えられないなあ

高校入試でも外部試験の活用が進む

大阪府では取得している英検®の級によって英語試験の得点に換算しており、福井県でも所持級で試験結果に+5~15点、加点されます。全国的にみても、公立・私立、何らかの優遇制度をもつ学校が増えており、総合的に英語学習するうえでも積極的に外部試験を受けることも検討しましょう。

高校受験における外部試験利用 -英検®-

例1)大阪府立高校入学者選抜教科「英語」での得点換算

英検®	読み替え得点率
準1級	100%
2級	80%

例2)全国の英検®優遇制度の数

英検®優遇制度内容	国公立	私立	全体
出願資格	3	82	85
試験免除・得点換算	3	27	30
加点	3	98	101
判定優遇・合否参考	1	51	52
合計	10	258	268

※公益財団法人日本英語検定ホームページより(2019年2月時点) ※高校の数ではありません(ひとつの高校で複数の優遇制度があるなど) ※最新の情報は各校のウェブサイトや募集要項などでご確認ください。

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

きょうだい
3人の

悩み相談 トーク

速読メソッドで能力アップ!



次女:さくら

※速読トレーニング画面



長女:すみれ

頑張ってるわね! 手ごたえはどう??

最近ちょっとだけ読むのが速くなってきた気がする…
演習の正答率も上がってきたし! 上々かな??



長男:はると

僕も最近、英語で何を話しているか聞き取れるようになったよ! これのおかげかも??



あ、速読聴トレーニングだね!
2.0倍とかで聞いた後に通常のスピードで聞くと一語一語がとってもゆっくり聞こえて…
私もすっかり英文が聞き取れるようになってるなって思ったの!?



長女:すみれ

脳にはスピードに慣れる性質があって、よく言われるのは「高速道路から一般道に降りた後、周りの景色がゆっくりみえる」ってやつね!
「可塑性」っていうの!
英文を自分が通常読む速度、聞く速度より速く見たり聞いたりすると、そのスピードに慣れて、普通のスピードに戻ったときにゆっくり感じるのよ!



長男:はると

僕もリスニングの点数はもちろん、全体的にテストの点数も上がってきた気がする…
これが効果かな?!



長女:すみれ

英文を「見る」「聞く」機能が高められると、他の能力も連動して高められるの。これも脳の作用で「汎化作用」っていうのよ!??

脳科学者の先生もこのようにおっしゃってるわ! ↓



澤口 俊之さん

速読によって様々な脳機能が向上

速読で注目すべきなのは、ワーキングメモリの速度が上がる、という点です。このワーキングメモリが速くなることで、思考や決断も速くなり得ます。速読中の脳の活動をみても、注意やワーキングメモリに深く関わる前頭前野が左右共にとても活性化します。前頭前野はこれらの機能以外にも、勉強や仕事などに重要な諸機能に関わります。速読がそうした前頭前野機能を広範に高めることは明らかでしょう。

※澤口俊之さん「速読」推薦文より一部抜粋

脳ってすごい! 今まで意識していなかったけど、やればやるほど効果が出てくるのね。これからも頑張ろうと!!



速読メソッド×スラッシュリーディング×多読多聴

で効率よく英語力を高めよう!

トレーニングの流れ

リーディングコース

1 語彙



長文読解の基礎となる語彙力をきたえる

2 演習



スピードを意識しながら長文演習を行い、内容を理解する

3 速読



速く読む訓練と、意味のかたまりで前から読む習慣をつける

リスニング



倍速音声でリスニング力強化

リスニングコース

1 語彙



音声聞いて、単語の意味を答える

リスニング



英文を聞き、内容確認問題できちんと聞き取れたかチェック

速読聴



倍速機能により、英文を聴き取りやすい土台を育成